

〈予算の主な使いみち〉

今年度も引き続き、「安心のまち蒲郡」、「自然と共生するまち蒲郡」、「明るく元気なまち蒲郡」の3つを柱として、市民の皆さんのニーズに定める予算編成を行いました。主な使いみちをご紹介します。

安心のまち蒲郡

少子・高齢社会に対応した福祉施策の充実

●低年齢児保育の充実

次世代育成支援施策として共働き世帯、母子父子世帯の子育て支援のため、北部保育園の保育室・調理室を改修し、新たに低年齢児クラスを新設します。これにより、0歳児～2歳児の受け入れ定員が増えます。また、延長保育を実施する園も7園から8園になります。

●西部子育て支援センターの開設

みどり保育園内にある地域子育て支援センターでは、家庭で子育て中の保護者の方の悩みや相談に応じ、親子対象の「ほほえみサロン」や「子育てひろば」を実施しています。このセンターは、豊岡町にあるため、市の西地区の子育て家庭が利用しやすいように形原北

保育園に2つ目の地域子育て支援センターを開設します。災害に強いまちづくり

●防災ボランティアコーデイネーター養成事業

東海、東南海・南海地震や大雨、洪水などの自然災害が発生し、甚大な被害を被った場合、全国各地から多くのボランティアが被災地に入り、被災者を支援するさまざまな活動を行うことが予想されます。そこで、ボランティアの受け入れが速やかにできるよう、災害ボランティア活動に関する知識を修得し、実践的な訓練を積んだコーデイネーターを確保するため、防災ボランティアコーデイネーターの養成を行います。

自然と共生するまち蒲郡

自然と調和した

潤いのあるまちづくり

●みなとオアシス事業

海のまちづくりの一環として、竹島ふ頭一帯を地域の特色を活かしたにぎわいのある場、市民が気軽に立ち寄ることができる憩いの場になるよう事業を展開していきます。事業の内容は、「海に親しんでいたたく」ことをテーマに、市

民の皆さんによる「子どもヨットスクール」などを計画しています。この事業が、中部圏初として国の「みなとオアシス」事業に登録されるよう目指します。

●粗大ごみ等の運搬車両の貸出し事業

軽トラック2台を追加購入し、日曜日のみに無料貸し出しをしていた運搬車両を平日（祝日も可）でも貸し出しできるように市役所に常備します。これにより、机・自転車などの粗大ごみや布団・毛布などの大型可燃ごみだけでなく、剪定枝や資源物などの搬入にも対応できるようにします。

●住宅用太陽熱利用システム導入促進補助金事業

地球温暖化防止対策として、住宅の屋根などに設置した住宅用太陽熱利用システム（太陽熱温水器およびソーラーシステム）の補助制度を新たに始めます。このことにより、従来からの住宅用太陽光発電システム設置費補助制度と合わせ、太陽熱を利用した新エネルギーの導入促進を図ります。

明るく元気なまち蒲郡

産業の振興と経済の活性化

●観光ビジョン事業

平成16年12月に策定した「蒲郡市観光ビジョン」のアクションプランを計画的に実施します。なかでも、今年で2回目となる「蒲郡観光交流ウィーク」を市外にPRして観光客誘致に努めます。また、広域連携事業の一環として、NHK連続テレビ小説「純情きらり」のロケ地である岡崎市とがまごおり温泉郷を周遊バスで結び、万博後の観光振興を進めていきます。

●農業・漁業各種振興対策事業

厳しい産地間競争のなか、引き続き柑橘新品種の導入に対して支援します。また、農業および漁業への新規就業を促す奨励金支給制度を創設し、後継者の確保を図ります。さらに、施設園芸農家への原油価格高騰対策や収穫体験農園を開設する農家の組織化を支援します。

4月には、市内の3漁業協同組合が合併し、新たに蒲郡漁業協同組合として発足するため、経営基盤の強化を支援します。